

第 78 期
中間報告書

(平成25年3月1日から
平成25年8月31日まで)

岡谷鋼機株式会社

証券コード 7485

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第78期上半期(第2四半期連結累計期間：平成25年3月1日から平成25年8月31日まで)を終了いたしましたので、ここに営業の概況等をご報告申し上げます。

平成25年10月

取締役社長

岡谷篤一



営業の概況

営業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米
国経済の回復傾向の中、ASEAN経済も底堅さを維持
しており、全体としては緩やかな回復基調で推移しま
した。日本経済は、政府の経済政策、及び日銀の金融
緩和により景況感が回復し、その効果も徐々に現れて
きました。

このような状況下にあって、当第2四半期連結累計
期間における売上高は、3,579億27百万円で、前年同
期比0.7%の増収となりました。

損益につきましては、売上総利益が238億78百万円
(前年同期比3.5%増)、営業利益が66億2百万円(前
年同期比6.5%増)、経常利益が79億55百万円(前年
同期比8.0%増)となりました。また、当四半期純利益
は48億51百万円(前年同期比4.6%増)となりました。

中間配当金につきましては、1株あたり12円とし、
支払開始日を10月31日とさせていただきます。

通期(平成25年度)の見通し

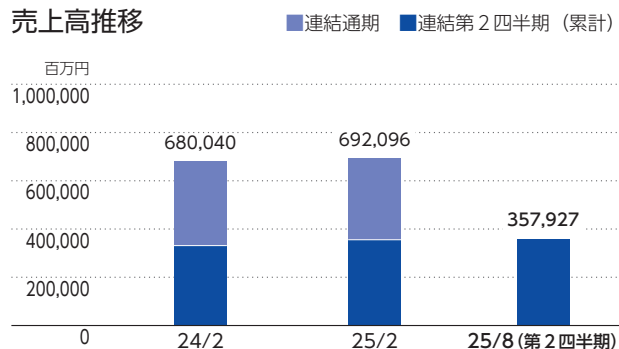
通期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推
移しており、売上高は7,500億円を予想しております。

経常利益は150億円、当期純利益は90億円を予想し
ております。

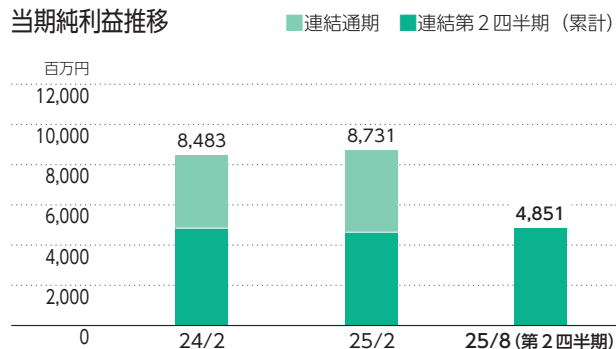
株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご協力を
賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

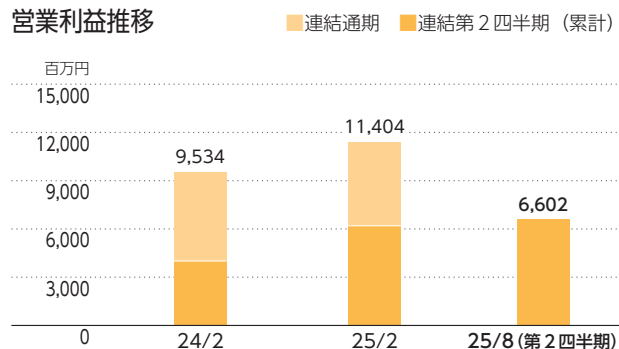
売上高推移



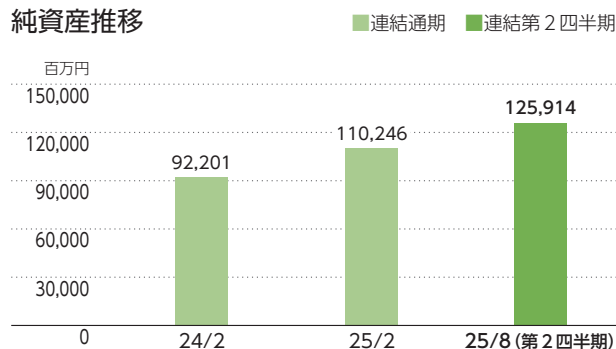
当期純利益推移



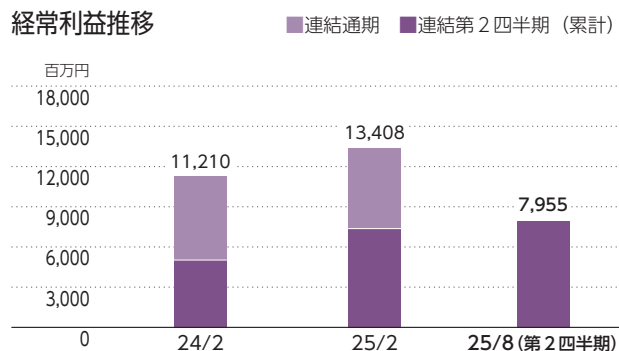
営業利益推移



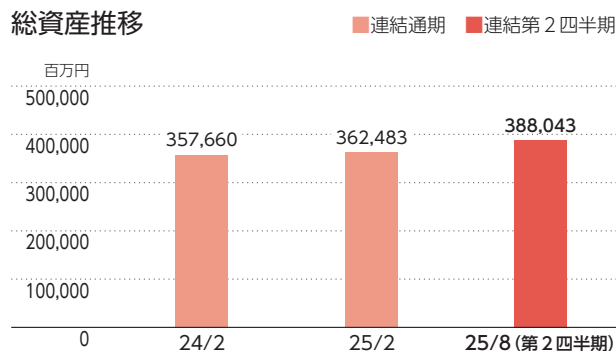
純資産推移



経常利益推移



総資産推移



トピックス

1. 上海岡谷鋼機有限公司 蘇州事務所開設について

当社子会社の上海岡谷鋼機有限公司は、製造業が集積している蘇州地区において、メカトロ関連商品・鉄鋼等素材系商品などに関する情報収集活動を行うため、蘇州事務所を2013年3月に開設しました。



蘇州事務所の入居ビル

2. インドネシア岡谷鋼機会社 デルタマス事務所開設について

当社子会社のインドネシア岡谷鋼機会社は、西ジャワ州ブカシ地区においてユーザーに密着した営業活動を行うため、デルタマス事務所を2013年4月に開設しました。



デルタマス事務所の入居ビル

3. 子会社の株式譲渡について

当社子会社の岡谷マート株式会社は、その子会社であるヤナギ管材株式会社の株式を、2013年7月に譲渡しました。

4. 鉄鋼販売子会社2社の合併について

当社子会社の岡谷薄板販売株式会社は、2013年9月1日にミワ鋼材株式会社を吸収合併しました。経営資源の有効活用により、経営基盤の充実ならびに小口販売の営業力強化を図ります。

5. 中国四川地震被害への義援金寄付

当社は、2013年4月20日に中国四川省で発生した地震による被災者の方々に対し、中国で事業を行う子会社8社と共に義援金を寄付しました。

6. 米国オクラホマ州竜巻被害への義援金寄付

当社子会社の米国岡谷鋼機会社は、2013年5月20日に米国オクラホマ州で発生した竜巻による被災者の方々に対し、義援金を寄付しました。

7. チャリティーコンサート開催について

当社は、社会貢献活動の一環として、2013年6月28日、愛知県芸術劇場コンサートホールにおいて「OKAYA CHARITY CONCERT 2013 ～感謝の夕べ～」を開催しました。

多くの皆様にご賛同いただき、チケット売上金と、当社からのマッチングギフト、また、ご来場くださいました皆様からお預かりしました募金額を合わせ、合計370万円を越す金額を、社会福祉法人愛知県共同募金会に募金しました。



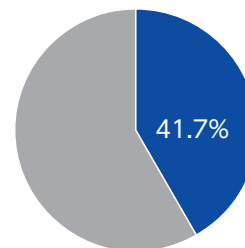
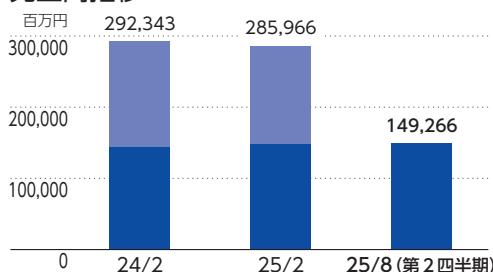
セグメント情報

鉄 鋼



鉄屑、棒鋼、鋼矢板、H型鋼、鋼板、鋼管、機械構造用炭素鋼、合金鋼、軸受鋼、工具鋼、ステンレス鋼 他

売上高推移



製造業関連では、自動車向けは堅調に推移したものの、建設機械・産業機械向けは伸び悩みました。

土木・建築・内需関連は回復の兆しは見られるものの、全体としては引き続き伸び悩みました。輸出は東南アジア、中国、台湾向けが順調に推移しました。

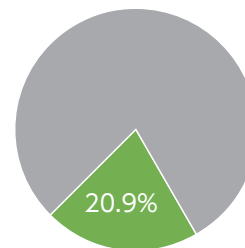
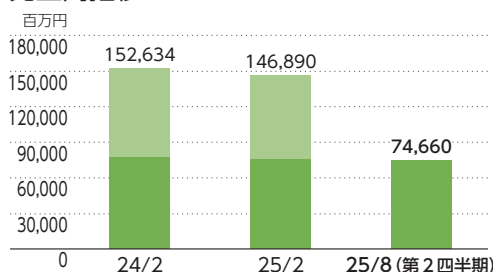
鉄鋼部門全体では、売上高は1,492億66百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

情報・電機



銅・アルミ、レアアース、電子部材、汎用電機品、映像機器、半導体・周辺電子部品、ソフトウェア開発・販売 他

売上高推移



非鉄金属分野では、海外向け電子部材が好調に推移しましたが、原材料は需要低迷により減少しました。

エレクトロニクス分野では、電子部品及び半導体は堅調でしたが、自動車向けは価格下落により売上が減少しました。

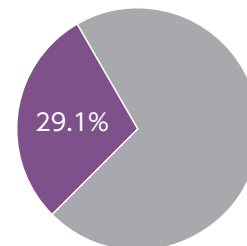
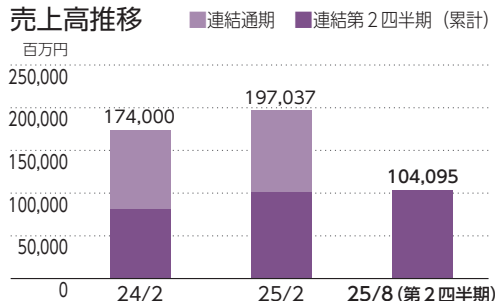
情報・電機部門全体では、売上高は746億60百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

産業資材



工作機械、工具、産業用ロボット、自動車部品、合成樹脂原料、樹脂成形品、環境・リサイクル対応設備、半導体・電子関連設備機器 他

売上高推移



メカトロ分野、化成品分野ともに、国内外で堅調な生産を続ける自動車向けに部品・工具、樹脂原料が順調に推移しました。またメカトロ分野では引き続き海外向けを中心に設備機械も順調でした。

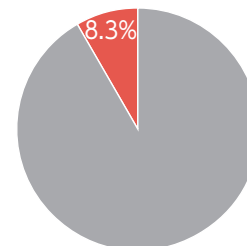
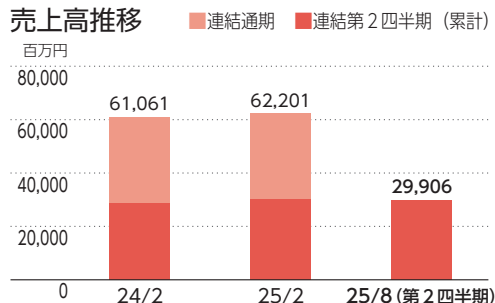
産業資材部門全体では、売上高は1,040億95百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

生活産業



配管資材、住設機器、住宅用資材、不動産開発、分譲マンション、水産物、畜産物、倉庫業 他

売上高推移



配管住設分野ではユーザー向けは堅調でしたが、全般的に低調でした。建設分野では分譲マンション、建築工事案件ともに減少しました。食品分野では加工食品の輸入が増加しました。

生活産業部門全体では、売上高は299億6百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日現在)	前連結会計年度 (平成25年2月28日現在)
資産の部		
流動資産	232,002	220,745
固定資産	156,041	141,738
有形固定資産	40,683	40,252
無形固定資産	841	976
投資その他の資産	114,515	100,509
資産合計	388,043	362,483
負債の部		
流動負債	218,097	209,784
固定負債	44,031	42,453
負債合計	262,129	252,237
純資産の部		
株主資本	80,739	76,516
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	64,261	60,036
自己株式	△ 448	△ 446
その他の包括利益累計額	37,375	26,496
その他有価証券評価差額金	38,169	29,756
繰延ヘッジ損益	41	△ 1
為替換算調整勘定	△ 834	△ 3,258
少数株主持分	7,798	7,233
純資産合計	125,914	110,246
負債純資産合計	388,043	362,483

四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (平成25年3月1日から 平成25年8月31日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成24年3月1日から 平成24年8月31日まで)
売上高	357,927	355,397
売上原価	334,049	332,328
売上総利益	23,878	23,069
販売費及び一般管理費	17,275	16,872
営業利益	6,602	6,196
営業外収益	2,513	2,203
営業外費用	1,160	1,032
経常利益	7,955	7,368
特別利益	22	19
特別損失	172	226
税金等調整前四半期純利益	7,805	7,160
法人税、住民税及び事業税	2,641	2,329
法人税等調整額	42	△ 44
少数株主損益調整前四半期純利益	5,120	4,875
少数株主利益	269	235
四半期純利益	4,851	4,639

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (平成25年3月1日から 平成25年8月31日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成24年3月1日から 平成24年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,246	6,484
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,173	△ 1,746
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,668	△ 4,037
現金及び現金同等物に係る換算差額	805	104
現金及び現金同等物の増減額	1,209	805
現金及び現金同等物の期首残高	8,307	6,985
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,517	7,790

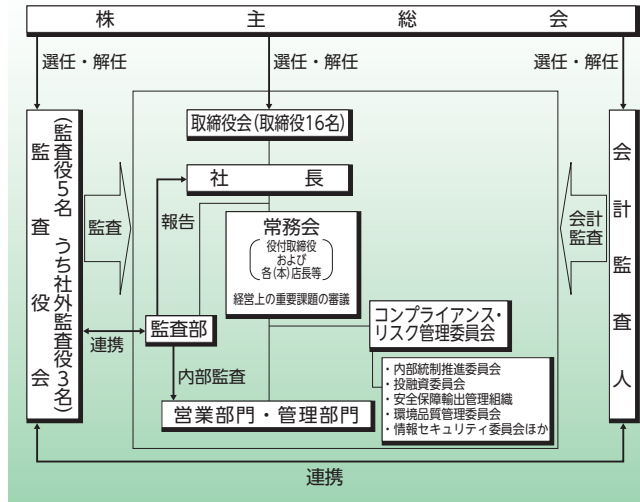
内部統制システムに関する基本的な考え方およびその整備状況

1. 基本的な考え方

企業としての社会的責任を自覚し、コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスおよびリスク管理を経営の重要な課題と位置付けており、課題達成のためのインフラとして内部統制システムを位置付け、継続的に充実・強化を図っております。

2. 整備状況（詳細は当社ホームページをご参照ください。 <http://www.okaya.co.jp/>）

- ① 取締役・使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制
- ② 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制
- ③ 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
- ④ 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
- ⑤ 当社および子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制
- ⑥ 監査役の職務を補助すべき使用人に関する体制と当該使用人の取締役からの独立性に関する事項
- ⑦ 取締役および使用人が監査役に報告するための体制その他監査役への報告に関する体制および監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制



利益配分に関する基本方針および株主優待について

1. 配当政策

当社グループは、株主に対する利益還元を企業経営の重要政策の一つと考えており、競争力を維持・強化して株主資本の充実に努めつつ、配当を行うことを基本方針としております。

2. 株主優待

当第2四半期（2013年8月期）株主優待として、8月末所有株式数1,000株以上の株主様に、《山の幻 愛知米ミネアサヒ5kg》をお贈りいたします。

また、2014年2月末所有株式数500株以上の株主様に、《山の幻 愛知米ミネアサヒ5kg》をお贈りいたします。

会社概要 (平成25年8月31日現在)

会社概要

商号	岡谷鋼機株式会社 OKAYA & CO., LTD.
所在地	名古屋市中区栄二丁目4番18号
創業	寛文9年(1669年)
設立	昭和12年(1937年)
資本金	91億28百万円
事業	国内販売・輸出入貿易業・建設業・ 倉庫業・不動産業
就業人員	連結 4,748名 単体 707名
URL	http://www.okaya.co.jp/

役員

代表取締役専任常務取締役	岡谷 篤一
代表取締役専任常務取締役	川松 康吉
代表取締役専任常務取締役	勝田 匡彦
代表取締役専任常務取締役	二宮 秀司
代表取締役専任常務取締役	馬場 彰
代表取締役専任常務取締役	稲生 豊
代表取締役専任常務取締役	岡部 健
代表取締役専任常務取締役	服部 誠
代表取締役専任常務取締役	坪内 彰彦
代表取締役専任常務取締役	金剛 宣邦
代表取締役専任常務取締役	和田 宗起
代表取締役専任常務取締役	田吉 文彦
代表取締役専任常務取締役	萩原 孝紀
代表取締役専任常務取締役	平野 隆裕
代表取締役専任常務取締役	右田 勝久
代表取締役専任常務取締役	田島 昇
代表取締役専任常務取締役	岩田 憲二
代表取締役専任常務取締役	石田 邦雄
代表取締役専任常務取締役	島田 晴雄
代表取締役専任常務取締役	上田 純子
代表取締役専任常務取締役	小栗 宏次

ネットワーク

1. 当社

本社・名古屋本店	名古屋市中区栄二丁目4番18号
東京本店	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 (丸の内中央ビル)
	東京都新宿区西新宿三丁目7番1号 (新宿パークタワー)
大阪店	大阪市西区新町一丁目27番5号
国内支店	豊田、刈谷、静岡、浜松、 北海道(苫小牧市)、 東北(仙台市)、新潟、 北陸(富山市)、中国(広島市)、 九州(福岡市)

2. 関係会社等

国内
(株)NaITO(東京都他)、岡谷マート(株)(東京都他)、岡谷鋼機九州(株)(福岡市他)、東海プレス工業(株)(愛知県弥富市)、中部合成樹脂工業(株)(愛知県豊川市他)、岡谷建材(株)(東京都他)、岡谷物流(株)(名古屋市他)、六合エレメック(株)(名古屋市他)、岡谷スチール(株)(名古屋市他)、岡谷エレクトロニクス(株)(横浜市他)、岡谷機電(株)(名古屋市他)、(株)岡谷特殊鋼センター(愛知県丹羽郡)、東海岡谷機材(株)(愛知県刈谷市他) 他

海外
米国岡谷鋼機会社、カナダ岡谷鋼機会社、ブラジル岡谷鋼機会社、欧州岡谷鋼機会社(ドイツ他)、インド岡谷鋼機会社、サイアムスリヤ会社(タイ)、タイ岡谷鋼機会社、シンガポール岡谷鋼機会社、ベトナム岡谷鋼機会社、インドネシア岡谷鋼機会社、広州岡谷鋼機有限公司(中国)、香港岡谷鋼機有限公司(中国)、北京岡谷鋼機有限公司(中国)、天津岡谷鋼機有限公司(中国)、上海岡谷鋼機有限公司(中国)、台湾岡谷鋼機有限公司、韓国岡谷鋼機会社、豪州岡谷鋼機会社、Poland Tokai Okaya Manufacturing Sp. z o.o.、Union Autoparts Manufacturing Co., Ltd.(タイ) 他

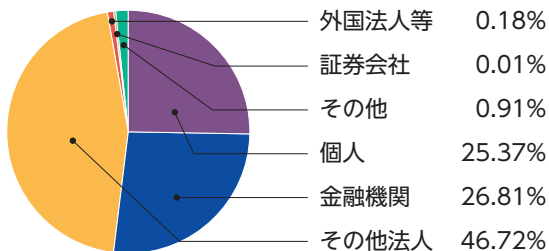
株式の状況 (平成25年8月31日現在)

株式の状況

株式数	
発行可能株式総数	177,856,000 株
発行済株式の総数	48,600,000 株
株主数	3,328 名

株式分布状況

所有者別割合



大株主の状況

株主名	持株数 千株	持株比率 %
岡谷不動産株式会社	6,071	12.60
岡谷篤一	2,407	4.99
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,314	4.80
新日鐵住金株式会社	2,120	4.40
三井住友信託銀行株式会社	2,010	4.17
株式会社りそな銀行	1,327	2.75
日本興亜損害保険株式会社	1,085	2.25
岡谷鋼機社員持株会	884	1.83
オークマ株式会社	816	1.69
公益財団法人真照会	693	1.43

- (注) 1. 持株比率は自己株式(424,808株)を控除して計算しております。
2. 公益財団法人真照会は、将来社会に貢献し得る人材を育成し、併せて学術・技芸の振興を図るために必要な奨学援助をなすことを目的として、大正6年に創設されました。

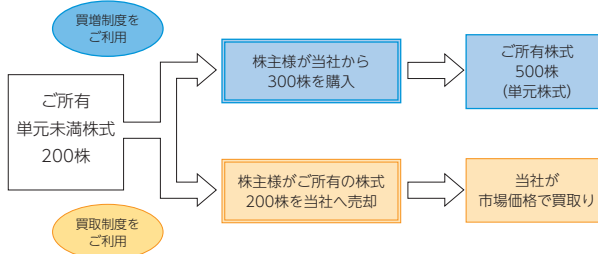
株式に関するお知らせ

単元未満株式の買取・買増請求について

当社の株式は1単元が500株となっており、単元未満株式(1~499株)については市場での売買はできませんが、当社に対して買取請求(売却)、または500株(1単元)となるよう買増請求(購入)をすることができます。お手続きの方法および用紙のご請求は、裏面記載の連絡先にお申し出ください。

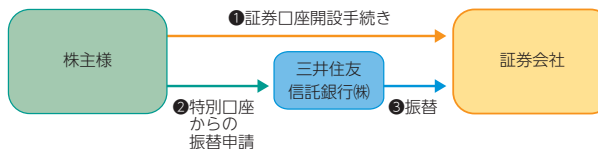
【単元未満株式買増・買取制度例】

○単元未満株式200株をご所有の株主様の場合



特別口座から証券会社の口座への振替申請について

特別口座*に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式を除く)。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお勧めします。



*特別口座
株券電子化前にほふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった場合に、当該株式が記録される口座です。

株主メモ

ホームページのご案内

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
 定時株主総会 5月
 配当金支払株主確定日 期末配当 2月末日

中間配当 8月31日

公告の方法

電子公告
 ただし、電子公告によることができない
 やむを得ない事由が生じたときは、日本
 経済新聞に掲載いたします。

電子公告掲載ホームページアドレス

<http://www.okaya.co.jp/ir/pn/>

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

連絡先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
 全国本支店で行っております。

岡谷鋼機のホームページでは、決算短信
 等の詳しい財務データや各種IR情報を掲載
 しています。
 是非一度ご覧ください。



・岡谷鋼機ホームページアドレス
<http://www.okaya.co.jp/>

株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問い合わせください。

証券会社の口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> 単元未満株式の買取・買増請求 届出住所・姓名などのご変更 配当金の受領方法・振込先のご変更 	□座を開設されている 証券会社
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	三井住友信託銀行 株式会社証券代行部

特別口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> 単元未満株式の買取・買増請求 特別口座から証券口座への振替請求 届出住所・姓名などのご変更 配当金の受領方法・振込先のご変更 	三井住友信託銀行 株式会社証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねて
 おります。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分
 方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社にて行われます。確定申告
 を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取の株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封
 させていただきます。

確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



岡谷鋼機株式会社



見やすく読みまちがえにくい
 ユニバーサルデザインフォント
 を採用しています。



環境に配慮した
 植物油インキを
 使用しています。